※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　情報科

科目	コンピュータ実践Ａ	単位数	1
使用教科書	なし		
副教材等	30 時間でマスター　Office2019（実教出版）		
レポート	３通		
必要出席回数	２回		
テスト	○		
課題・実習等	スクーリングでコンピュータを毎回使用		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育みます。
- 表計算ソフトの学習をします。スクーリングにできるだけ出席しましょう。
- 「Google classroom」を活用します。必ずアプリをインストールし、連絡などを受け取れるようにしといてください。

２　学習の到達目標

- 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付き の視点から捉え、問題の発 見・解決に向けて情報と情報 技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	Ｅｘｃｅｌ	①Excel実習① ②Excel実習② ③Excel実習③ ④Excel実習④	a.　Ｅｘｃｅｌの基本的な操作ができる b.　状況に応じて、必要なＥｘｃｅｌの操作を判断し、活用することができる c.　レポート・スクーリングにおいて、振り返りのコメントを書くことができている	レポート／スクーリング／テスト	レポート／テスト	レポート／スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度